

平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月8日

上場会社名 静岡ガス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9543 URL http://www.shizuokagas.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 戸野谷 宏
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 (氏名) 疋野 雄一郎 TEL 054-284-7990
 経理担当マネジャー
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 平成29年9月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	61,004	0.2	4,817	△56.5	5,233	△54.1	3,218	△57.8
28年12月期第2四半期	60,883	△26.4	11,077	25.2	11,412	30.4	7,632	37.6

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 3,980百万円 (△33.1%) 28年12月期第2四半期 5,951百万円 (△17.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	43.62	43.54
28年12月期第2四半期	103.47	103.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	106,287	80,250	69.2
28年12月期	110,938	78,110	63.6

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 73,584百万円 28年12月期 70,563百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	6.50	—	6.50	13.00
29年12月期	—	7.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	122,490	12.8	5,680	△44.5	6,330	△41.0	3,720	△44.7	50.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（詳細は、【添付資料】9ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記（4）四半期財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。）

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期2Q	76,192,950株	28年12月期	76,192,950株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	2,406,480株	28年12月期	2,422,180株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期2Q	73,780,858株	28年12月期2Q	73,756,930株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、平成29年8月10日に機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

(参考) 個別業績予想

平成29年12月期の個別業績予想 (平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	103,310	9.3	4,340	△51.5	3,760	△45.6	50.95

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無：有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10
3. 参考情報	11
(1) ガス販売量(個別)	11
(2) インドネシアでのガスエネルギー事業への進出について	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期(平成29年1~6月)の売上高は、前年同期並みの610億円となりました。

一方、原料価格の変動がガス販売単価に反映されるタイムラグによる影響が前年同期に比べ縮小したことから、営業利益は前年同期に比べ56.5%減の48億円、経常利益は54.1%減の52億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は57.8%減の32億円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、下記のセグメント別業績数値には、セグメント間の内部取引を含んでおります。

①ガス

ガス販売量は、卸供給先の需要が減少したことなどにより前年同期に比べ2.0%減の727百万m³となりました。

売上高は、原料費調整制度によるガス販売単価の下方調整等により、前年同期に比べ2.9%減の502億円となりました。また、原料価格の変動がガス販売単価に反映されるタイムラグによる影響が前年同期と比べ縮小したことから、セグメント利益(営業利益)は51.7%減の57億円となりました。

②LPG・その他エネルギー

売上高は、平成28年4月より電力販売を開始したことなどから、前年同期に比べ35.0%増の74億円となり、セグメント利益(営業利益)は前年同期に比べ2.4%増の4億円となりました。

③その他

売上高は、前年同期に比べ1.6%増の63億円となり、セグメント利益(営業利益)は6.1%減の2億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、LNG在庫量の減少に伴う原材料の減少や償却の進捗等により、前連結会計年度末に比べ46億円減の1,062億円となりました。

負債は、原料代金決済のタイミングによる買掛金の減少や長期借入金の返済が進んだことなどにより、前連結会計年度末に比べ67億円減の260億円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ21億円増の802億円となり、自己資本比率は69.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ10億円減の103億円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、58億円の収入(前第2四半期連結累計期間は109億円の収入)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費の計上等があったものの、仕入債務の減少等による支出があったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は31億円の支出(前第2四半期連結累計期間は59億円の支出)となりました。これは、固定資産の取得等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は36億円の支出(前第2四半期連結累計期間は33億円の支出)となりました。これは、長期借入金の返済や配当金の支払等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、通期の業績予想を修正いたしました。

前回業績予想から、卸供給先への販売量の減少や原料費調整制度に基づく販売単価の下落などにより、売上高は前回業績予想を下回る1,224億円となる見通しです。一方、上期における原料価格の下落により、原材料費の減少幅が売上高に比べて大きくなることから、営業利益は56億円、経常利益は63億円、親会社株主に帰属する当期純利益は37億円と、前回業績予想を上回る見通しです。

(参考) 原油価格・為替レートの想定

原油価格 (全日本CIF)	前回想定	55ドル/bbl (第3～4四半期)
	今回想定	54ドル/bbl (第3～4四半期)
為替レート	前回想定	115円/ドル (第3～4四半期)
	今回想定	115円/ドル (第3～4四半期)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	11,473	10,557
供給設備	35,737	34,779
業務設備	5,064	5,198
その他の設備	8,038	8,711
建設仮勘定	1,036	522
有形固定資産合計	61,350	59,770
無形固定資産	867	825
投資その他の資産		
投資有価証券	11,787	11,880
長期貸付金	7,203	6,870
繰延税金資産	367	362
その他投資	1,567	1,595
貸倒引当金	△92	△93
投資その他の資産合計	20,833	20,615
固定資産合計	83,052	81,210
流動資産		
現金及び預金	11,446	10,378
受取手形及び売掛金	7,313	8,756
商品及び製品	241	271
原材料及び貯蔵品	5,936	3,390
繰延税金資産	568	576
その他流動資産	2,405	1,729
貸倒引当金	△26	△26
流動資産合計	27,886	25,076
資産合計	110,938	106,287

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
固定負債		
長期借入金	11,432	10,210
繰延税金負債	559	671
退職給付に係る負債	3,948	3,568
その他固定負債	119	114
固定負債合計	16,060	14,565
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	3,356	2,737
買掛金	7,503	3,272
未払金	1,307	1,439
未払法人税等	1,238	1,626
賞与引当金	482	429
その他流動負債	2,878	1,965
流動負債合計	16,767	11,471
負債合計	32,828	26,036
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,279	6,279
資本剰余金	4,653	4,688
利益剰余金	56,512	59,251
自己株式	△1,230	△1,222
株主資本合計	66,214	68,995
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,488	4,700
繰延ヘッジ損益	△1	△9
為替換算調整勘定	△253	△228
退職給付に係る調整累計額	115	125
その他の包括利益累計額合計	4,349	4,589
新株予約権	79	105
非支配株主持分	7,467	6,560
純資産合計	78,110	80,250
負債純資産合計	110,938	106,287

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	60,883	61,004
売上原価	36,896	43,351
売上総利益	23,987	17,653
供給販売費及び一般管理費	12,909	12,835
営業利益	11,077	4,817
営業外収益		
受取利息	72	66
受取配当金	100	108
持分法による投資利益	115	95
為替差益	15	85
雑収入	163	172
営業外収益合計	468	527
営業外費用		
支払利息	126	95
雑支出	6	15
営業外費用合計	133	111
経常利益	11,412	5,233
特別損失		
投資有価証券評価損	86	31
特別損失合計	86	31
税金等調整前四半期純利益	11,326	5,201
法人税等	3,235	1,467
四半期純利益	8,091	3,734
非支配株主に帰属する四半期純利益	458	515
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,632	3,218

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	8,091	3,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,014	218
繰延ヘッジ損益	106	△7
為替換算調整勘定	—	1
退職給付に係る調整額	6	10
持分法適用会社に対する持分相当額	△237	23
その他の包括利益合計	△2,139	245
四半期包括利益	5,951	3,980
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,493	3,458
非支配株主に係る四半期包括利益	458	521

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,326	5,201
減価償却費	4,899	4,530
有形固定資産除却損	51	16
有価証券評価損益(△は益)	86	31
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△307	△366
賞与引当金の増減額(△は減少)	2	△52
受取利息及び受取配当金	△173	△174
支払利息	126	95
持分法による投資損益(△は益)	△115	△95
売上債権の増減額(△は増加)	2,370	△1,442
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,209	2,516
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,655	△4,224
未払又は未収消費税等の増減額	△1,995	1,302
その他	△5	△228
小計	13,813	7,111
利息及び配当金の受取額	173	174
利息の支払額	△152	△127
法人税等の支払額	△2,888	△1,315
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,946	5,843
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△13	△13
定期預金の払戻による収入	13	13
有形及び無形固定資産の取得による支出	△6,338	△3,809
有形及び無形固定資産の売却による収入	9	45
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
貸付金の回収による収入	331	340
工事負担金等受入による収入	263	453
その他	△230	△204
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,969	△3,179
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△8
長期借入れによる収入	1,100	240
長期借入金の返済による支出	△2,956	△2,043
配当金の支払額	△442	△479
非支配株主への配当金の支払額	△1,093	△1,104
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△291
その他	△1	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,393	△3,688
現金及び現金同等物に係る換算差額	△156	△42
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,427	△1,067
現金及び現金同等物の期首残高	9,999	11,421
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,426	10,353

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガス	LPG・ その他 エネルギー	計				
売上高							
外部顧客への売上高	51,246	5,438	56,684	4,198	60,883	—	60,883
セグメント間の内部 売上高又は振替高	577	110	688	2,085	2,773	△2,773	—
計	51,824	5,548	57,373	6,284	63,657	△2,773	60,883
セグメント利益	11,993	474	12,467	278	12,746	△1,669	11,077

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受注工事及びガス機器販売事業、リフォーム事業、リース事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△1,669百万円には、セグメント間取引消去118百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,787百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガス	LPG・ その他 エネルギー	計				
売上高							
外部顧客への売上高	49,474	7,363	56,837	4,167	61,004	—	61,004
セグメント間の内部 売上高又は振替高	823	128	952	2,219	3,171	△3,171	—
計	50,298	7,491	57,789	6,386	64,176	△3,171	61,004
セグメント利益	5,793	485	6,279	261	6,541	△1,723	4,817

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受注工事及びガス機器販売事業、リフォーム事業、リース事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△1,723百万円には、セグメント間取引消去121百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,845百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 参考情報

(1) ガス販売量(個別)

		前第2四半期 (28/1~28/6)	当第2四半期 (29/1~29/6)	増減	増減率(%)	
お客さま数		戸	317,016	318,074	1,058	0.3
ガス 販 売 量	家庭用	百万m ³	51	52	1	2.1
	商業用	〃	16	16	0	1.2
	工業用	〃	316	356	40	12.5
	その他用	〃	16	16	0	1.8
	卸供給	〃	335	279	△57	△16.9
	合計	〃	734	719	△16	△2.1
大口販売量		〃	311	351	39	12.5

(注) 1 「お客さま数」は、期末取付メーター数を記載しております。

2 「お客さま数」には、卸供給先のお客さま数は含みません。

3 販売量は1m³当たり45MJ換算し、表示単位未満を四捨五入しております。

(2) インドネシアでのガスエネルギー事業への進出について

当社はインドネシアでガスエネルギー事業を展開するPT Mitra Energi Persada(以下、MEP社)との業務提携を通して、同国でのガスエネルギー事業に進出いたします。

当社は、MEP社の発行済株式の7.5%を取得し、同社との協業によりインドネシア・南スマトラ州を中心に産業用ガスの拡販に取り組んでまいります。加えて、島国であるインドネシアの各地で開発が進む分散型エネルギーインフラの構築を見据え、新規事業の検討・開発にも注力し、エネルギーの効率的な利用と温室効果ガスの削減に貢献してまいります。

今後もこのような取り組みを加速させ、成長が見込めるアジア市場を中心に新たな事業展開の可能性を追求してまいります。

MEP社の概要

名称	PT Mitra Energi Persada (ミトラ エネルギー ペルサダ)
本店所在地	インドネシア共和国 ジャカルタ特別州
代表者の役職・氏名	President Director Ivo Wongkaren
上場市場	Indonesia Stock Exchange (IDX)
事業内容	天然ガスの輸送・販売事業

以上